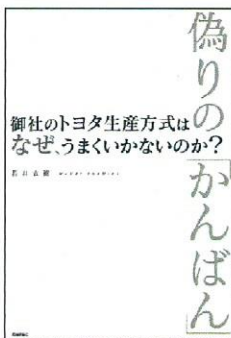


## 『御社のトヨタ生産方式はなぜ、うまいかないのか?』

—偽りの「かんばん」—



岩井 吉樹 著  
技術評論社 / 205ページ / 1580円(税抜き) /  
ISBN978-4-7741-3244-0

## 『魔法のようなオフィス革命』



潮田 邦夫、妹尾 大 著  
河出書房新社 / 195ページ / 720円(税抜き) /  
ISBN978-4-309-50333-2

## トヨタ流は魔法ではない

タイトルだけ見ると既にトヨタ生産方式を導入もしくは熟知している人が読むべき書籍であるような印象を受けるが、むしろ現在検討していたり、これから勉強を始めたたりする人に薦めたい。トヨタ生産方式を導入する際の注意点を整理している入門書だ。事例や図解が分かりやすい。

改めて思うのは、即効性があり必ず成果が出る業務改善の手法などそうそう無いということだ。トヨタ生産方式とて例外ではない。トップの指導力と現場のモチベーションが無ければ工場に定着させることは無理だろう。

巻末に中小企業診断士である著者が推薦する「トヨタ流」本のリストが掲載されている。 上木

## 4人用机で職場を活性化

企業が高いコストを払ってオフィスを維持し続けるのはなぜか。本書は、「1人では出せない知恵を出す」ためだと説明する。新しい知恵は、異なる経験や視点を持つ人々が交流して生まれるというわけだ。さらに本書は、人々の交流頻度を高めるオフィスの作り方も提案する。

作り方といっても、特別な道具などは不要。例えば4人用机を並べずに単独で置くと、社員2人が「斜め90度」の位置関係で座れる。隣同士で座る場合や正対して座る場合と異なる空間が生まれ、社員同士が話しやすくなるという。

一連の提案がもたらす効果はタイトル通り「魔法のよう」。だが、著者がNTTドコモなどで実践してきたものだけに説得力はある。 島津